

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 端山園	代表者	山内幸雄	法人・ 事業所 の特徴	豊國神社の境内の一角に位置し、自然に囲まれた閑静な環境となっている。「住み慣れた地域で、いつまでも‘ありがたい自分’で暮らしていける」ことを目指し日常の支援を行っている。
事業所名	地域密着型ケアセン ターいまくまの	管理者	加賀爪亮多郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	具体的な改善計画をもとに、引き続きカンファレンス等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。	困難事例の初期支援において、他機関と協力しながら取組み、スムーズにサービスを導入することができている。ご利用者等の心身状況の変化に対して、カンファレンス等を通じて、情報の共有及び柔軟にサービスを変更提供し、日常生活を支援することができている。	コロナの中でできることも限りがあると思いますが、今できることを着実に実行されていると考えます。適切に改善計画が立てられていると感じる。 スタッフ間のコミュニケーションを密にする取組みをされており、それが気づきや次のアクションにつながっていると思います。丁寧に自己評価されていたと感じる。	各テーマの改善計画をもとに、ミーティング等を通じて、活動を確認し、スタッフ一同取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナウイルスの感染対策を取り組んでいく。 事業所内でできる範囲のイベントや季節折々の飾り付けをご利用者とともに取組み、季節感が味わえるようにする。	事業所内で季節行事や食事イベントを定期的に催している。季節に応じた貼り絵を作成して頂いている。感染対策を継続しており、感染拡大なく、事業運営を行うができている。	ズームにて飾り付けの先生を招くなど、コロナでもできる交流を推進されてはいかがでしょうか 穏やかな雰囲気です施設内に入りやすいと感じる 二度お伺いしましたが、どちらもきれいな空間作りがなされていたと思います。今後も環境整備の取組みを進めてください。 季節を感じられるようなしつらえや催し、行事食をご用意されて	引き続きコロナウイルスの感染対策を取り組んでいく。 ご利用者と共に季節折々の飾り付けを行い、季節感が味わえるようにする。 環境整備を継続し、居心地のいい空間を作る。

			<p>いるのでご利用者の方も喜んでいらっしゃると思います。 特に問題なし</p>	
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。ズーム体操の参加継続。 昨年活動した雑巾づくりの活動を広げる。</p>	<p>ズームにて、小松谷児童館と交流する機会を設けることができる。ご利用者に作成して頂いた雑巾をなづな学園・東山支援学校・からだね事業所に寄付を行うことができた。地域の方々と連携を図りながら、独居の方々の見守り等の支援を行うことができている。</p>	<p>しつらえや環境のところが意見は一緒です。 コロナ渦で地域との関わりが薄くなってしまっているが、ズームの活用・作品や雑巾を通じたつながり作りは素晴らしいと感じる。コロナ渦の影響により、参加が難しかったと思います。 地域の役員の方には、知名度が上がってきたと存じます。いつも挨拶をきちんとして下さっています。 事業所の周知に改善点は見られる。特に問題なし</p>	<p>引き続き、地域資源の活用連携を図り、ご利用者のケースにあたる。 ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。 ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>個人の希望に沿った個別ケアやズーム体操など、引き続き継続して取り組んでいく。ご利用者の雑巾づくり活動を広げ、社会貢献を担う機会を増やす。</p>	<p>ご利用者に作成して頂いた季節に応じた貼り絵の作品をなづなカフェややすらぎカフェに展示して頂いている。ご利用者の雑巾づくり活動が広がり、寄付先が増えている。ご利用者の必要な生活の事柄は地域の資源を活用している。</p>	<p>個別ケースで地域の方とつながりを深められる場合、お声かけ下さい。 修道お買い物便にご参加いただくなど、今ある社会資源に活用してはいかがでしょうか ズーム体操へご利用者に毎週参加して頂けて雰囲気明るくなるように感じます。 今後も引き続きご協力いただくと助かります。 ズーム体操はよい取り組みかと思えます。雑巾づくりでは寄付の場面で利用者の方に同行頂ける</p>	<p>ご利用者と共に、創作作品を作成し、他事業所へ展示活動を行う。 ご利用者と共に、雑巾を作成し、他事業所への寄付活動を行う。 コロナ前の外出活動ができるか、感染対策と共に検討する。</p>

			と達成感がより増して、今後につながると思います。 コロナ渦により、制限があるため、思うようにやりたいことができないのでもどかしく感じた。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する。	運営推進会議や東山区で開催される会議への参加を通じて、他事業所とつながりを持つことができ、活動の幅が広がっている。困難なケースに対しても、初期支援等、介入がスムーズに行えている。	具体的かつ着実な目標を立てて、いっしょにやろうと思います。また実現に向けて、きめ細かな取り組みをされています。運営推進会議では出席者全員から意見を求め、情報交換が行われていたと感じる コロナ渦の時は、Zoomの活用も今後検討されていると思います。	引き続き運営推進会議を通じて、困難ケースへの取り組みや地域の活動状況・ニーズを把握し、活動参加を通じて、地域へ貢献する。
F. 事業所の 防災・災害対策	感染状況を踏まえながら、引き続き防災訓練等の活動を行う。	防災訓練及び自然災害の訓練を行うことができている。今年度中にAEDの訓練も行う予定。	積極的に防災訓練を企画していて良いと感じる ご利用の方と職員の皆さまの安全を第一にBCPに取り組んでください。 コロナ渦でご利用者が地域の防災訓練に参加することは難しくなっているが、早く元の状態に戻ればよいと感じる	外部の方にも防災訓練に参加していただけないか、引き続き案内を出す。 防災訓練及びBCPのシュミレーション訓練を実施する